

募集要項等の内容に対する質問への回答

番号	質問箇所	質問事項	回答
募集要項			
1	企画提案募集要項 P3 6 企画提案に係る手続き (3) 応募登録 イ 提出書類 (4) 応募図書の作成及び提出 イ 提出書類	提出書類に社印の押印は不要でよろしいでしょうか。必要な場合は、該当の書類をご教示ください。	提出書類に社印の押印は不要です。
2	企画提案募集要項 P3 6 企画提案に係る手続き (4) 応募図書の作成及び提出 イ 提出書類 (イ) 企画提案書(任意様式)	企画提案書は任意様式とございますが、Microsoft PowerPoint 形式(A4 横スライド形式)での提出は認められるかご教示ください。	Microsoft PowerPoint 形式(A4 横スライド形式)での提出は認めます。
3	企画提案募集要項 P3 6 企画提案に係る手続き (4) 応募図書の作成及び提出 イ 提出書類 ウ 提出部数	提出部数は 10 部とございますが、イ提出書類(ア)～(オ)について、会社名等が入った形で各書類 10 部ずつという認識でよろしいでしょうか。 もしくは会社名を記載した正本を1部、会社名を黒塗りした副本を 9 部といった指定はございますか。 技術者の資格や実績を記載した際に、資格証や、実績を証明する契約書やテクリスの添付は必要でしょうか。必要な場合、会社名等が記載されているため 1 部のご提出でよろしいでしょうか。	会社名等が入った形で、(ア)～(オ)を 10 部ずつご提出ください。 企画提案コンペの段階で、資格証、実績を証明する契約書やテクリスの添付は必須ではありません。 なお、契約締結には当該資料をご提出いただきます。
4	企画提案募集要項 P5 8 受託候補者の選定 (3) 審査基準	各項目の配点等の資料がございましたら、参考までにご提示を頂けます様、宜しくお願い致します。	各項目の配点等は公表しません。
仕様書			
1	仕様書 P1～2 6 技術者の配置 (1) 管理技術者	「受託者は、本業務の実施に際して、次の資格等を有する者を配置すること」とありますが管理技術者について (ア)または(イ)のどちらかの要件を満たす者を配置すれば良いと考えてよろしいでしょうか。 (1) 管理技術者につきまして、総合技術監理部門(応用理学—地球物理及び地球科学)又は応用理学部門(地球物理及び地球科学)の資格を有する者とございますが、地震・津波被害想定に関する業務に管理技術者として従事した経験を持つ(港湾及び空港)の技術士はダメでしょうか。(照査技術者も含め)	(ア)及び(イ)の両方の要件を満たすことが望ましいですが、(ア)又は(イ)のいずれかの要件を満たす者を配置することで問題ございません。
2	企画提案コンペ仕様書 P2 6 技術者の配置 (3) GSI 技術者	(3) GIS 技術者について、「空間情報総括監理技術者」もしくは「GIS 上級技術者」と「同等の資格を有する者」とは具体的にどのような資格保有者を示されておられるのか、参考までに教えて下さい。	測量士等の空間情報の取得や解析に関する専門知識を有する資格保有者等を想定しています。
3	仕様書 P4 7 業務の内容 (2) 地震・津波被害想定調査 ア 業務概要	「本業務の概要は、国の「南海トラフ巨大地震モデル検討会」において公表された地震動及び津波波源モデルに基づき、(1)カで実施した津波シミュレーション結果を反映させて被害想定を行うこと。」とございますが、地震動は国の公表データを使用することを前提としている(本業務内では地震動の計算を行わない)と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
4	仕様書 P4～5 7 業務の内容 (2) 地震・津波被害想定調査 ウ 被害想定項目	「集計は市町単位とすること。」とございますが、神戸市の結果は区に分けた集計を行う前提と考えてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
5	仕様書 P5 7 業務の内容 (2) 地震・津波被害想定調査 エ 被害想定手法 (1) 想定シーン	「様相の異なる次の 3 シーン」が示されておりますが、現在の委託上限額における設計として、他のシーンは対象としないという認識(仮にシーン追加となる場合は別途の変更協議対象)でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。 なお、兵庫県防災会議総合部会にて他シーンの追加・変更が必要と判断された場合は、兵庫県と受託者で協議をお願いします。
6	仕様書 P5 7 業務の内容 (2) 地震・津波被害想定調査 カ 防災・減災対策の課題検討	兵庫県での防災・減災対策の取組み(南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム)」と示されておりますが、貴県にてこれまで行われてきた防災・減災対策の取組みは下記 URL で公開されている「南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム」にて網羅されているという認識でよろしいでしょうか。 また、現在公開されているのは「令和6年9月改訂版」とあり、都度の改訂が行われていると推察いたします。改訂の過程で削除された項目があればご教示ください。 URL: https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/documents/nankair05.pdf	お見込みのとおりです。 「南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム」は、平成26年度から令和8年度までの13年計画であり、「令和6年9月改訂版」が最新版であり、各項目の進捗状況を毎年更新しており、改訂の過程で削除された項目はございません。
7	仕様書 P7 9 業務の進め方 (2) 兵庫県 防災会議総合部会 (ウ) 会議録作成	この会議録は「(3) 自治体及び住民向け説明会の実施」にて示されている「(録音データ、議事概要、議事録等)」と同じと考えてよろしいでしょうか。また、議事録は発言者とその発言を網羅した文字起こし記録という認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
8	仕様書 P8 11 成果品 (4) 県ホームページ用電子データ一式	「掲載用データ」で想定されている形式をご教示ください。 (例えば成果品の GIS データをもとに国土地理院公開の地理院タイル(XYZ 方式)のようなデータを作成するなどを想定しております) 地理院タイル: https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html	(1)～(3)の各業務の報告書について、編集・追記等を行い、県ホームページ掲載用の報告書データ(Word及びPDF)を作成いただくことを予定しております。